

# 令和6年度地震・津波防災訓練 (宮崎県日向市・内閣府)

## 実施報告書 (概要版)

### 宮崎県日向市について

(ひゅうがし)

宮崎県日向市は宮崎県の北東部に位置し、東側は日向灘に面している。重要港湾である「細島港」を中心に港湾工業都市として発展を続けており、令和7年3月1日時点の人口は5万6,580人、世帯数は2万5,095となっている。

気候は温暖であり、年間平均気温は約17度と、降雪を見ることはほとんどない。年間平均湿度は70%前後で、年間降水量は2千mmを超えてくる一方で、日照時間も200時間を超えるなど、晴天に恵まれた地域でもある。雨は梅雨時期から晩夏にかけて多く、この時期のみで年間降水量の大半を占めている。中でも夏から秋にかけての雨は、台風や秋雨前線に伴う一時的な豪雨が多く、梅雨時期の豪雨とともに多くの災害を起こす原因となっている。

想定される地震については、「南海トラフ地震」が挙げられる。歴史上この「南海トラフ」では大規模な海溝型地震が多く発生しており、今後も大規模な地震の発生が予測されている。その際、地震による揺れや津波によってさまざまな被害が人やライフライン、インフラに及ぶことが試算されている。

今回訓練を実施した南部地区では、沿岸部の低地に大規模な工場が立地するなど、津波避難訓練の実施を通じた意識の向上が求められている。



## 訓練概要

- 訓練想定： 1月26日(日)午前8時5分頃、日向灘北部東方海上を震源とするマグニチュード9.1の地震が発生し、日向市内では最大震度7を観測する揺れが発生し、8時30分に津波の第一波が到達する想定のもと、訓練を実施。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和6年9月29日(日)10:00～12:00  
【地震・津波防災訓練】令和7年1月26日(日)8:05～12:00  
【訓練実施後WS】 令和7年1月26日(日)10:30～11:30
- 主催： 日向市、内閣府
- 参加者数： 地区住民354名(津波避難訓練)  
訓練実施前WS:42名、訓練実施後WS:61名
- 参加機関： 陸上自衛隊第43普通科連隊第4中隊、航空自衛隊新田原基地、自衛隊宮崎地方協力本部日向地域事務所、宮崎県防災救急航空隊、日向市東臼杵郡医師会(DMAT)、三股病院、民間患者等搬送事業者、宮崎県薬剤師会、九州旅客鉄道株式会社、宮崎県防災士ネットワーク日向東臼杵支部、日向市自主防災会連絡協議会、日向市区長公民館長連合会、日向市社会福祉協議会、佐川急便日向営業所、中村消防防災株式会社、キンパイ商事株式会社、南栄工業、日本ハムマーケティング株式会社、日本赤十字社宮崎県支部、日向ライオンズクラブ、NTTフィールドテクノ、日向市、日向市消防本部、日向市消防団
- 訓練項目： シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所移動訓練、X(旧Twitter)情報収集訓練、災害対策本部運営訓練、避難所開設訓練、受付・安否確認訓練ほか
- 訓練特色： 実施地区の沿岸部には、外国人労働者が多く働く工場が立地している。周辺住民を含めた津波避難を促すため、訓練ではドローンにより日本語及び英語で津波避難を呼びかけた。

## 訓練の成果

### 【成果】

- 津波避難訓練では、
  - ・参加者は階段、坂道等を含め最短経路により最寄りの津波避難場所へ避難したほか、津波浸水想定区域外の内陸部においては、一時的な集合場所において隣近所どうしの安否確認を行うなど、各自の地域の特性に応じた緊急行動が実践できていた。
  - ・沿岸部に立地する工場に勤務する外国人労働者らは、その施設に隣接し緊急時のみ立入が許可された鉄道線路を横切る形で実践し、普段とは異なる行動手順を体験、実践できた。
- 津波避難訓練後に続けて実施した図上訓練では、津波到達により自宅等を失い指定避難所(訓練会場の小学校の体育館)での生活を想定し、参加者は必要なレイアウトや運営上配慮すべき事項を話し合い、被災後のイメージを高めることができた。
- その他の訓練では、防災関係機関の初動行動や装備が紹介され、地域学習ができた。

### 【課題】

- 地域内で多く活動する外国人は、日本語に不慣れであることから、津波避難時には、地域住民からの声掛けのほか、やさしい日本語の活用、津波警報等の情報だけでなく必要な具体的行動を含む呼びかけ等を実践し、実効性を高める必要がある。
- 地震発生時から津波避難、避難生活までの一連の経験を踏まえ、地域住民どうしでの助け合いの要領等を地区防災計画にまとめ、今後継続的に検証することが必要である。

9月29日(日) 10:00~12:00 訓練実施前ワークショップ

- ・「津波避難を想定した避難所の運営」をテーマに、防災専門家（澤田雅浩・兵庫県立大学准教授）による講演が行われた。
- ・参加住民が避難所運営に関するクイズゲームを行い、各班で発表を行った。

▼基調講演



▼避難所運営に関するクイズ



1月26日(日) 8:05~12:00 地震・津波防災訓練

- ・日向市内で最大震度7を観測する揺れが観測され、大津波警報が発表された想定のもと、地区住民は、シェイクアウト訓練、津波避難訓練などを行った。
- ・地区内の指定避難所において、避難所運営訓練など各種体験訓練を実施した。

▼津波避難訓練  
(沿岸部工場からの避難)



▼津波避難訓練  
(避難所の様子)



▼関係機関との孤立地区対応訓練



▼炊き出し訓練



▼物資搬入訓練



1月26日(日) 10:30~11:30 訓練実施後ワークショップ

- ・避難訓練の振り返りとして訓練の当日に第二部訓練の一部として避難所である寺迫小学校で行われた。
- ・各班からの発表後に防災専門家による講評をうけた。最後に内閣府から南海トラフ臨時情報に関する説明がされた。

▼ふりかえり講話



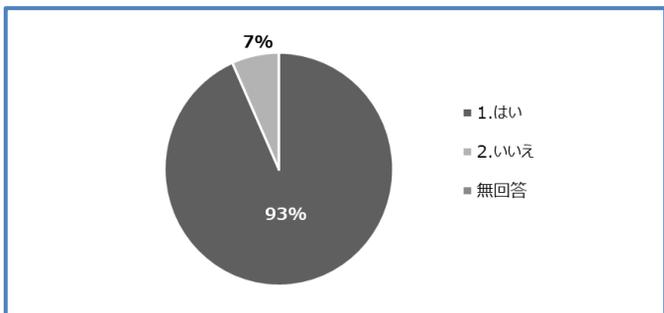
▼地図を用いた話し合い



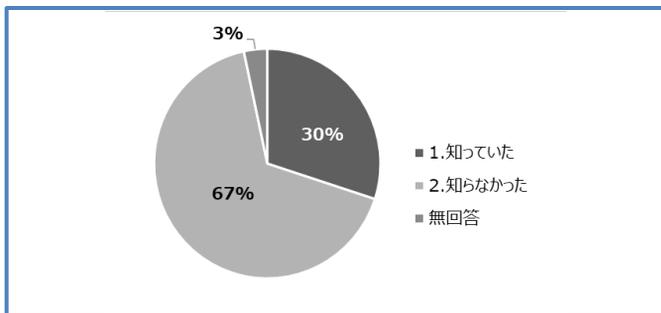
アンケート結果

住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

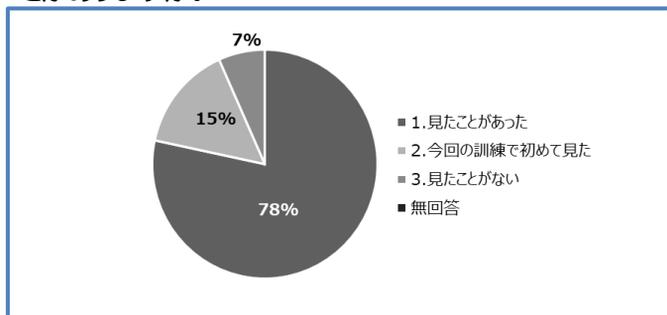
■ 地震・津波防災訓練に参加したのは、初めてですか。



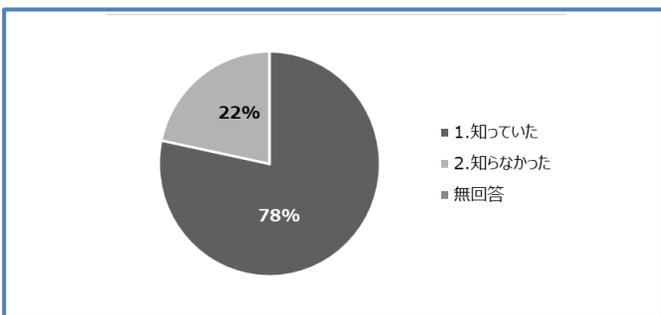
■ 11月5日が、「津波防災の日」であることを知っていましたか。



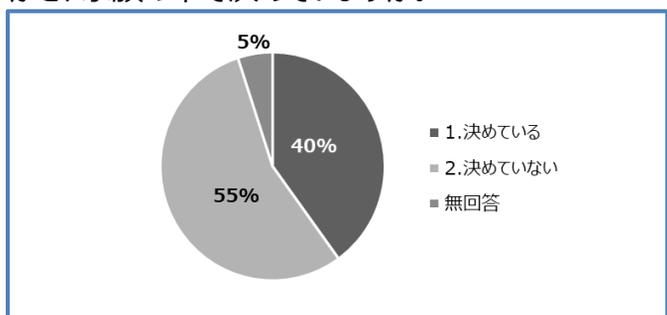
■ 市で作成している「津波ハザードマップ」を見たことがありますか。



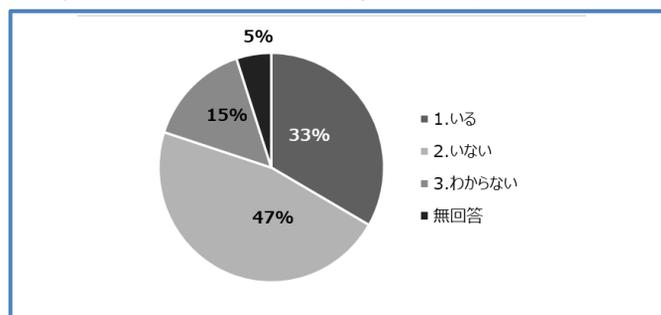
■ 津波に対する避難先や避難経路を知っていましたか。



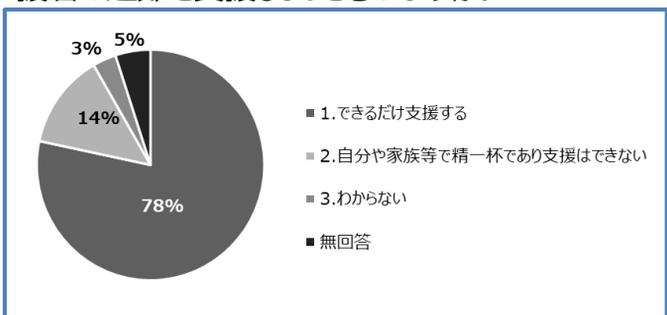
■ 災害時に家族同士で、どのように連絡を取り合うかを、家族の中で決めていますか。



■ あなたの周辺に、避難行動要支援者（※避難のため様々な支援が必要な方）は、いらっしゃいますか。



■ あなたが避難する際、可能ならば避難行動要支援者の避難を支援したいと思いますか。



■ 自治会や隣近所で、災害時の避難について話し合ったことはありますか。

